



平成23年5月13日

各 位

会社名 天龍木材株式会社
代表社名 代表取締役社長 大木 洋
(コード番号 7904 名証第二部)
問合せ先 取締役管理本部長 鈴木邦利
(TEL 053-421-1188)

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日公表の「平成23年3月期決算短信」において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、前期まで、毎期の利益計画の着実な実行を前提に、主力取引銀行からの支援を受けており、当該計画の達成如何では、財務活動に重大な影響を及ぼす可能性があり、その解消に重要な不確実性が認められていたことから、継続企業の前提に関する注記を記載しておりました。

当期においても、利益計画の達成状況如何では、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているために、当社グループは、当該状況を解消すべく、平成22年4月からスタートした「3ヶ年経営計画～チャレンジ450～」の諸施策を実行し、経営目標の必達を目指して取り組みました。

これらの諸施策によって、当期(平成23年3月期)においては、経常利益251百万円を計上することができ、計画を達成することができました。

次期(平成24年3月期)においても、木材事業は引き続き堅調に推移する見込みであることと、建材事業は天竜工場における床材生産の本格稼働に伴い採算がはかれる見込みであること等から、利益計画の達成を見込んでおります。

また、財務面では、主力取引銀行からの短期借入金のうち18億円を長期借入金に借換し、長期運転資金を確保することができました。

以上により、次期(平成24年3月期)以降においても利益計画の達成が見込める状態となり、また財務面においても、いまだ十分な余裕がある状態には至っていないものの、長期運転資金を確保することができ、かつ、今後も主力取引銀行の支援は継続されるものと考えておりますので、継続企業の前提に関する重要な不確実性は解消したと判断し、当該注記を記載しないことといたしました。

以上